

事 項	目 標 ・ 概 要	結 果			
	支援件数 100件				
エ 余暇支援・講座等の開催	日数 120回	No.	内 容	日 数	延人数
		1	たまり場	105日	92名
		2	フリースペース	—	22名
		3	就労支援登録者余暇グループ	17日	252名
		4	職業準備等グループ活動	0日	0名
		5	就労支援講座	2日	25名
			合 計	124日	391名
オ 地域開拓促進	情報提供件数 1,500件	(ア) 府中市障害者就労支援機関連絡会 5回 60機関 (イ) 障害者就労関係（求人、実習、研修等）情報提供 48回 延1,745件			

3 府中市子ども発達支援センター（児童発達支援部門）運営事業

地域における障害児支援の中核的役割として、乳幼児から18歳まで、切れ目のない相談支援体制が求められている。センター内で市が担当する総合相談や教育相談、就学相談と連携をはかりながら児童発達支援部門として相談や発達支援等の事業に取り組む。開設2年目の課題として、施設全体の目的と児童発達支援部門の役割の調整を進める。また、地域の関係機関との連携を進め、府中で育つ子どもたちの「発達」と「未来」を支える。

（1）発達相談・発達支援

事 項	目 標 ・ 概 要	結 果	
ア 発達相談	市が担当する総合相談からつながった18歳までの子ども及び保護者に対し、相談・発達評価等を行い、結果に基づいて適正な発達支援の提供や他の支援機関等に繋ぐ。子どもへの支援のみでなく、保護者への支援や子どもが所属する母集団施設等の関係機関支援にも取り組む。	発達全体の見立てを行い、必要な支援の提案を行う。令和7年度は対象児の所属する園等を訪問して助言ができるよう関係機関訪問相談を開始した	
	機関連携や役割分担の中で発達相談の求められる役割を検討する。子どもの所属する機関との連携方法を検討する。 相談の増加に対応し、イ以下の支援メニューにつなげられるよう体制整備に努める。	(ア) 発達相談 a 新規相談（親との初回電話） 437件 b インテーク（相談票提出後の確認） 420件 c 心理評価（新規） 405件 d 心理再評価 293件 e 評価報告／所見（保護者） 734件 f 心理継続相談 381件 g 継続相談 436件 h 関係機関訪問相談（アウトリーチ支援） 8件 (イ) 機関連携 a 部門間 816件 b 行政機関 894件 c 保育園 721件 d 学校 153件 e 医療機関 107件 f 事業所 139件 g カンファレンス 7件	

事 項	目 標・概 要	結 果					
イ 支援検討 会議	府中市総合相談担当者等と協働で定期的に検討会議を実施する。相談受付後の支援内容提案や、提供する支援を変更・終了する際に実施し、公正かつ適正に支援の案内を行う。	(ア) 部門調整会議A (イ) 支援検討会議B					
						50回	52回
ウ 個別支援	対象児の状況に応じて心理士・作業療法士・言語聴覚士・児童指導員等による個別支援プログラムを提供する。 支援体制を整え、専門的支援を提供する。	個別支援 合計 1,412件 内訳 (ア) 心理等個別支援 678件 (イ) 作業療法士（OT）個別支援 265件 個別評価等 155件 (ウ) 言語聴覚士（ST）個別支援 213件 個別評価等 101件					
エ グループ 支援	保育士、児童指導員、心理士等が子どもの発達支援と家族支援を目的に小集団でのグループ支援を行う。 主に2歳児までを対象とする親子活動グループ／3歳児から5歳児グループ（保護者は参観）を学年別に各10～15グループ程度設定する。 対象児の発達に適正な支援環境が整うよう、他機関の利用状況や母集団での適応状況を含め、対象児の適正なグループ参加回数を提供する。	(ア) グループ指導					
		名称	対 象	回数	実人数	延人数	※ペアレントプログラム グループ数
		かるがも	未就園・2歳児	159回	99名	776名	35回 13
		ひよこ	3歳児	165回	105名	762名	45回 15
		つばめ	4歳児	180回	108名	1,003名	45回 15
		はやぶさ	5歳児	160回	132名	866名	35回 19
		合 計		664回	444名	3,407名	160回 62
		(イ) グループ指導に伴うきょうだい保育 (未就園親子グループのみ対象) 35回 延35名 (ウ) 「通信」発行によるワンポイントアドバイス ※ペアレントプログラム 懇談会、ミニ勉強会をグループごとに実施					
オ 保護者支 援	主に3歳児から5歳児の保護者を対象に、実施。保護者支援グループを試行することで、ニーズや有効性についても検証する。 勉強会、懇談会など保護者が主体的に子どもの生活や特性理解を深め、地域での相談力を整える機会を提供する。	(ア) ペアレントプログラム（保護者勉強会）					
		内 容		回数（時期）		参加者数	
		作業療法士 気になる行動はどうしてだろう～ 子どもの特性を理解しよう～		3回（5月）		64名	
		言語聴覚士 ことばを育てるために大切なこと ～言葉の土台～		2回（9月）		37名	
		言語聴覚士 コミュニケーションとしてのこと ばを育む		2回（10月）		34名	
		心理士 就学へ向けて大切なこと～ご家庭		2回（11月） 1回（2月）		73名	

事 項	目 標 ・ 概 要	結 果
		で考えておきたいこと～ (イ) 年長児保護者支援グループ 保護者グループ 2回 延3名 ミニ勉強会 2回 延べ16名 はばたきに移行し、年長児の相談が増えたことから、就学に向けての保護者グループを試行したが、参加者の状況からミニ勉強会に変更した。
カ 保育所等 訪問支援	子どもが所属する機関（保育所、幼稚園等）に訪問支援員（保育士、児童指導員、心理士等）が訪問し、直接支援・間接支援を通して、一定期間の支援を行うことで、集団適応を促すことを目的に支援を提供する。 （移行期等の支援を想定） 公的に行う訪問支援の位置づけ、役割について検証する。	(ア) 保育所等への訪問支援 a 利用実人数 7名 b 訪問件数 34件 (イ) 第三者評価 10月～2月 自己評価 10月～2月

（２）児童発達支援事業（通園 すてっぷ）

事 項	目 標 ・ 概 要	結 果																		
ア 基本事業	子どもたちが円滑に楽しく安心して過ごすことができるよう取り組む。 定員 40名 年齢に応じ週2～5日の通園型療育を提供する。通園が母集団となり、活動プログラム、生活課題（排泄・食事・生活リズムなど）への取組も含めた単独通園（親子分離）での活動を提供する。 バス送迎、給食の提供あり。	(ア) 在籍児数 39名 (イ) 手帳所持者数 21名 (ウ) 延利用児数 6,957名 (エ) 給食提供数 6,387名 (オ) 送迎利用実人数 38名 (カ) 送迎利用延人数 10,274名 (キ) 開所日数 206日 (ク) 退所児数 16名 (内訳 卒園12名、保育所・幼稚園へ移行4名) (ケ) 第三者評価 10月～2月 自己評価 10月～2月																		
イ 行事	遠足、運動会、親子レクリエーションなど。 幼児期に所属集団で経験することが望ましい行事について、必要な配慮の上実施する。	(ア) 行事 <table border="1"> <thead> <tr> <th>行事名</th><th>回数（時期）</th><th>参加人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>親子レクリエーション</td><td>1回（5月）</td><td>27家族</td></tr> <tr> <td>福祉センタープール外出</td><td>4回（7月～8月）</td><td>46名</td></tr> <tr> <td>遠足</td><td>1回（10月）</td><td>35家族</td></tr> <tr> <td>運動会</td><td>1回（11月）</td><td>34家族</td></tr> <tr> <td>東芝ブレイブル</td><td>1回（11月）</td><td>36家族</td></tr> </tbody> </table>	行事名	回数（時期）	参加人数	親子レクリエーション	1回（5月）	27家族	福祉センタープール外出	4回（7月～8月）	46名	遠足	1回（10月）	35家族	運動会	1回（11月）	34家族	東芝ブレイブル	1回（11月）	36家族
行事名	回数（時期）	参加人数																		
親子レクリエーション	1回（5月）	27家族																		
福祉センタープール外出	4回（7月～8月）	46名																		
遠足	1回（10月）	35家族																		
運動会	1回（11月）	34家族																		
東芝ブレイブル	1回（11月）	36家族																		

事 項	目 標 ・ 概 要	結 果																								
		<table> <tr> <td>ーパス東京との交流</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>クリスマス会</td><td>1回（12月）</td><td>36家族</td></tr> <tr> <td>保育所交流</td><td>7回（11月～12月）</td><td>59名</td></tr> <tr> <td>お別れ遠足（年中長児）</td><td>2回（2～3月）</td><td>26名</td></tr> <tr> <td>体験行事（年少）</td><td>1回（3月）</td><td>11家族</td></tr> <tr> <td>卒園式</td><td>1回（3月）</td><td>26家族</td></tr> <tr> <td>誕生日会</td><td>月1回</td><td></td></tr> </table> （イ）すてっぷ内防災訓練 <table> <tr> <td>ひきとり訓練</td><td>3回（9月）</td><td>36家族</td></tr> </table>	ーパス東京との交流			クリスマス会	1回（12月）	36家族	保育所交流	7回（11月～12月）	59名	お別れ遠足（年中長児）	2回（2～3月）	26名	体験行事（年少）	1回（3月）	11家族	卒園式	1回（3月）	26家族	誕生日会	月1回		ひきとり訓練	3回（9月）	36家族
ーパス東京との交流																										
クリスマス会	1回（12月）	36家族																								
保育所交流	7回（11月～12月）	59名																								
お別れ遠足（年中長児）	2回（2～3月）	26名																								
体験行事（年少）	1回（3月）	11家族																								
卒園式	1回（3月）	26家族																								
誕生日会	月1回																									
ひきとり訓練	3回（9月）	36家族																								
ウ 家族連携支援	日常的な連絡帳、電話、申し送り面談、家庭訪問、ペアレントプログラム、参観・活動参加プログラムなど。 保護者が相談しやすい環境整備、家族参加プログラムの推進。 保護者間のつながりや、相互の学びの機会を提供する。	発達検査等個別面談、支援計画等の説明やモニタリング面談及び家庭訪問を通じて、家族の療育に関する理解等を支援した。また、個別の支援プログラムを保護者見学のもと実施し、フードバックを行った。 （ア）保護者支援プログラム <table> <tr> <th>内 容</th><th>回数(時期)</th><th>参加者数</th></tr> <tr> <td>クラス懇談会</td><td>3回(4月、8月、1月)</td><td>113名</td></tr> <tr> <td>家庭訪問</td><td>1回(5月、他)</td><td>37家族</td></tr> <tr> <td>活動参観</td><td>2回(7月、2月)</td><td>73家族</td></tr> <tr> <td>ペアレントプログラム</td><td>8回(前期) 8回(後期)</td><td>91名 59名</td></tr> <tr> <td>父親向けペアレントプログラム</td><td>2回(7月、11月)</td><td>20名</td></tr> <tr> <td>父母講演会</td><td>1回(7月)</td><td>55名</td></tr> <tr> <td>OB会</td><td>1回(8月)</td><td>53家族</td></tr> </table> （イ）保護者支援プログラムに伴う兄弟預かり 12名 （ウ）延長預かり 29件	内 容	回数(時期)	参加者数	クラス懇談会	3回(4月、8月、1月)	113名	家庭訪問	1回(5月、他)	37家族	活動参観	2回(7月、2月)	73家族	ペアレントプログラム	8回(前期) 8回(後期)	91名 59名	父親向けペアレントプログラム	2回(7月、11月)	20名	父母講演会	1回(7月)	55名	OB会	1回(8月)	53家族
内 容	回数(時期)	参加者数																								
クラス懇談会	3回(4月、8月、1月)	113名																								
家庭訪問	1回(5月、他)	37家族																								
活動参観	2回(7月、2月)	73家族																								
ペアレントプログラム	8回(前期) 8回(後期)	91名 59名																								
父親向けペアレントプログラム	2回(7月、11月)	20名																								
父母講演会	1回(7月)	55名																								
OB会	1回(8月)	53家族																								
エ 保健健康	医師面接、内科（小児科）健診、歯科検診、歯科予防指導、個別の健康配慮対応（アレルギー、てんかんなど）。 健康状況を把握し、安全配慮のもと、心身の健康を図る。	（ア）嘱託医による健康診断 2回（6月、11月） 71名 （イ）嘱託医による保護者相談 5回（7月、8月、9月、11月、12月） 23名 （ウ）嘱託医入所時面談 5回（10月、12月、1月、2月、3月） 17名 （エ）歯科検診 1回（12月） 29名 （オ）歯科予防指導 1回（12月） 19名																								

（３）地域支援・相談支援

事 項	目 標 ・ 概 要	結 果	
ア 障害児相談支援・特定相談支援	発達支援全体における相談支援の役割について検討し、相談支援の対象児像について精査していく。 児童発達支援部門の一事業として、相談支援の必要性が高い子どもに相談支援を実施する。発達及び生活を支	(ア) 障害児相談支援	
		a 利用実人数	30名
		b モニタリング数	75件
		c 計画作成件数	39件
		(イ) 特定相談支援	
		a 利用実人数	2名
		b モニタリング数	10件
	c 計画作成件数	3件	

事 項	目 標 ・ 概 要	結 果																																			
	えるための福祉サービス利用等のコーディネート、モニタリングやサービス担当者会議を通じた関係機関連携を行う。																																				
イ 関係機関 巡回相談	巡回相談担当者から児童発達支援部門へ相談を紹介する際の意図を確認し、適切に発達相談や支援につなぐ。 市内保育所、保育園、幼稚園、学童クラブからの依頼に対し、心理士等の専門職を派遣し、子どもの発達に関する相談等に応じる。 巡回相談担当者と児童発達支援部門内の他事業との情報共有の仕組みづくりを行う。	(ア) 巡回機関数 (内訳) 保育園 (所) 幼稚園 学童 (イ) 実施回数 (内訳) 保育園 (所) 幼稚園 学童 (ウ) 巡回相談連絡会 (相談員)	73件 45件 11件 17件 268回 204件 30件 34件 4回																																		
ウ 地域支援 ・ 地域連携	地域のニーズに応じた支援メニューを実施し、地域や関係機関の発達支援に関する理解や取組の質を高める。 関係機関との連携強化に努める。 関係機関職員研修、を実施する。市が実施する啓発活動への協力 (福祉まつり等) を行う。 同施設内の他部門 (総合相談、教育相談・就学相談) との役割分担の検討をすすめる。障害福祉、母子保健、子育て支援、保育、教育等の関係機関との情報交換を通じて、より有効な連携の方法を検討していく。	(ア) 関係機関職員研修 <table><thead><tr><th>内 容</th><th>回数(時期)</th><th>参加者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>臨床心理士 発達の見立てと特性の理解</td><td>2回 (6月)</td><td>64名</td></tr><tr><td>言語聴覚士 ことば・コミュニケーションの育ちを考える</td><td>2回 (7月)</td><td>66名</td></tr><tr><td>作業療法士 一人で食べられるようになるために必要なこと</td><td>2回 (7月)</td><td>53名</td></tr><tr><td>臨床心理士 子どもの心を育む環境 ～保護者支援のポイント～</td><td>2回 (9月)</td><td>64名</td></tr><tr><td>作業療法士 気になる子の行動の背景と手だてを考えよう</td><td>2回 (10月)</td><td>59名</td></tr><tr><td>作業療法士チーム 気になる子への支援～あそびの意味～</td><td>2回 (11月)</td><td>49名</td></tr><tr><td>臨床心理士 発達支援について話そう! 【グループワーク】</td><td>1回 (12月)</td><td>19名</td></tr></tbody></table> (イ) その他の地域講座・講師派遣等 <table><thead><tr><th>内 容</th><th>回数 (時期)</th><th>参加者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>ファミサポ (講師派遣)</td><td>2回 (6月、11月)</td><td>12名</td></tr><tr><td>府中市立保育所すくすく担当者研修 (講師派遣)</td><td>1回 (7月)</td><td>21名</td></tr></tbody></table>			内 容	回数(時期)	参加者数	臨床心理士 発達の見立てと特性の理解	2回 (6月)	64名	言語聴覚士 ことば・コミュニケーションの育ちを考える	2回 (7月)	66名	作業療法士 一人で食べられるようになるために必要なこと	2回 (7月)	53名	臨床心理士 子どもの心を育む環境 ～保護者支援のポイント～	2回 (9月)	64名	作業療法士 気になる子の行動の背景と手だてを考えよう	2回 (10月)	59名	作業療法士チーム 気になる子への支援～あそびの意味～	2回 (11月)	49名	臨床心理士 発達支援について話そう! 【グループワーク】	1回 (12月)	19名	内 容	回数 (時期)	参加者数	ファミサポ (講師派遣)	2回 (6月、11月)	12名	府中市立保育所すくすく担当者研修 (講師派遣)	1回 (7月)	21名
内 容	回数(時期)	参加者数																																			
臨床心理士 発達の見立てと特性の理解	2回 (6月)	64名																																			
言語聴覚士 ことば・コミュニケーションの育ちを考える	2回 (7月)	66名																																			
作業療法士 一人で食べられるようになるために必要なこと	2回 (7月)	53名																																			
臨床心理士 子どもの心を育む環境 ～保護者支援のポイント～	2回 (9月)	64名																																			
作業療法士 気になる子の行動の背景と手だてを考えよう	2回 (10月)	59名																																			
作業療法士チーム 気になる子への支援～あそびの意味～	2回 (11月)	49名																																			
臨床心理士 発達支援について話そう! 【グループワーク】	1回 (12月)	19名																																			
内 容	回数 (時期)	参加者数																																			
ファミサポ (講師派遣)	2回 (6月、11月)	12名																																			
府中市立保育所すくすく担当者研修 (講師派遣)	1回 (7月)	21名																																			

事 項	目 標 ・ 概 要	結 果
		府中第八小学校特別支援研究会（講師派遣） 2回（1月） —
		(ウ) 実習生受入れ 保育士実習 2件 2名 言語聴覚士養成課程学生体験実習 3回15名 障害児療育研究会担当者 4回 4名 社会福祉士実習 1件 1名 (エ) ボランティア 教材作りのボランティア 12回 12名 すてっぷ同窓会（遊びコーナー） 1回 1名 すてっぷ父母講演会（きょうだい預かり） 1回 1名 (オ) 視察受け入れ 施設としてはばたき事業報告書に計上 (カ) その他 防火防災員会 11回 防災訓練等 4月 ・ 避難訓練（通園） 7月 ・ 火災避難訓練（通園・児童含む） 9月 ・ 防災訓練（児童発達支援部門） ・ 多摩川洪水時における避難訓練（市主催） ・ 引き取り訓練（通園）※再掲 10月 ・ 避難訓練（グループ） ・ 避難訓練（通園） 11月 ・ 防災訓練（通園） 12月 ・ 消火器散水訓練（児童発達支援部門） 2月 ・ 地震火災総合避難訓練（児童発達支援部門・児童含む） 3月 ・ 避難はしご使用訓練（児童発達支援部門） ・ はばたき総合防災訓練（市主催）

4 府中ケアサポートセンター運営事業

介護保険法における居宅介護支援事業、訪問介護事業等や介護予防・府中市日常生活支援総合事業、障害者総合支援法における介護給付事業等を実施する。

(1) 訪問介護事業（法人独自事業）

事 項	目 標 ・ 概 要	結 果
ア 訪問介護	延利用者数 250名	(ア) 訪問介護
	派遣回数 2,500回	市内に居住する介護保険法の要介護認定者
イ 訪問型サービス	国基準	a 利用者 251名
	延利用者数 300名	b 派遣回数 2,398回
	派遣回数 1,800回	c 派遣時間 2,317.75時間
	市基準	(イ) 総合事業（国基準）
	延利用者数 200名	市内に居住する介護保険法の要支援者等
	派遣回数 800回	a 利用者 259名
	訪問介護員（ホームヘルパー）等は、要介護者等の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、その有する能力に応じ自立した	b 派遣回数 1,258回
		c 派遣時間 951.50時間
		(ウ) 総合事業（市基準）
		a 利用者 141名
		b 派遣回数 545回
		c 派遣時間 396時間